

地方創生への取り組み

地方創生とは、国主導ではなく地方が主体となって、自分たちの地域を盛り上げていくという政策です。高砂市でも、平成26年度補正予算として、地方創生関連予算（地方創生先行型施策）を3月定例会にて可決しました。

また、私も委員として所属することとなりました、地方創生総合戦略策定等調査検討特別委員会が設置されました。市の、地方創生に関する取り組みを逐一議会にも報告等いただくとともに、議会としても勉強会を開催していく予定です。地方創生は地方に与えられたチャンス、しっかりと取り組んでまいります。

大学生の議員インターンシップ

NPO 法人ドットジェイピーが行なっている議員インターンシップの受け入れ議員となり、2月と3月の2ヶ月間、インターンシップ生に来ていただきました。

大学生には駅立ちやポスティングの経験や議会傍聴、勉強会への参加などを行っていただきました。

また、一泊二日の合宿でのディベート大会をはじめ、調査研究のプレゼンテーションも行ってもらいました。

議員インターンシップは、若い世代に議員の仕事や議会を見聞かしてもらい絶好の機会です。今後も続けてまいりたいと思います。



お知らせ

ホームページも合わせてご覧ください。http://shimazuharuka.com/

また、日々の活動をブログに綴っています。

しまづはるか活動報告 http://blog.goo.ne.jp/shimazu1987

後援会員を募集しております。ご入会いただける方は、下記連絡先まで、ご連絡ください。

読んでいただき、ありがとうございました。ご感想をお寄せいただくと嬉しく存じます。

TEL/FAX 079-447-1515 E-mail shimazu.takasago@gmail.com

しまづはるか後援会報



会報 6号

発行責任者：島津明香 TEL/FAX:079-447-1515 E-mail:shimazu.takasago@gmail.com

3月定例会 市政報告号

ご挨拶

平成27年度最初の後援会報です。手にとりいただき、ありがとうございます。

平成27年2月27日から平成27年3月30日までの32日間の会期中、高砂市議会3月定例会が開会されました。地方創生に関する予算や平成27年度の様々な事業の予算を可決し、新たな年度がスタートしました。

新しい年度の始まり、新生活を始められた方々も、充実した生活を送ることができますよう、平成27年度もしっかりと取り組んでまいります。



3月定例会 一般質問

3月定例会の一般質問は休日議会にて行われました。

市民が協働するまちづくりについて、市民の意見を市政に反映させるための施策を中心に質問しました。

質問：パブリックコメントの実施や内容を市民に知ってもらうための工夫が必要ではないか。
例えば、市の広報には必ず掲載するなどの工夫ができるのではないか。

回答：市民への周知強化については、広報誌に掲載する場合は発行の時期に実施時期を合わせるなど調整する。4月から市のホームページでバナーの配置やトピックスでのお知らせなど目につきやすいように努めていく。

質問：行政の取り組みを市民に知ってもらうために、特に若い世代対象に LINE などスマートフォンアプリの活用ができないか

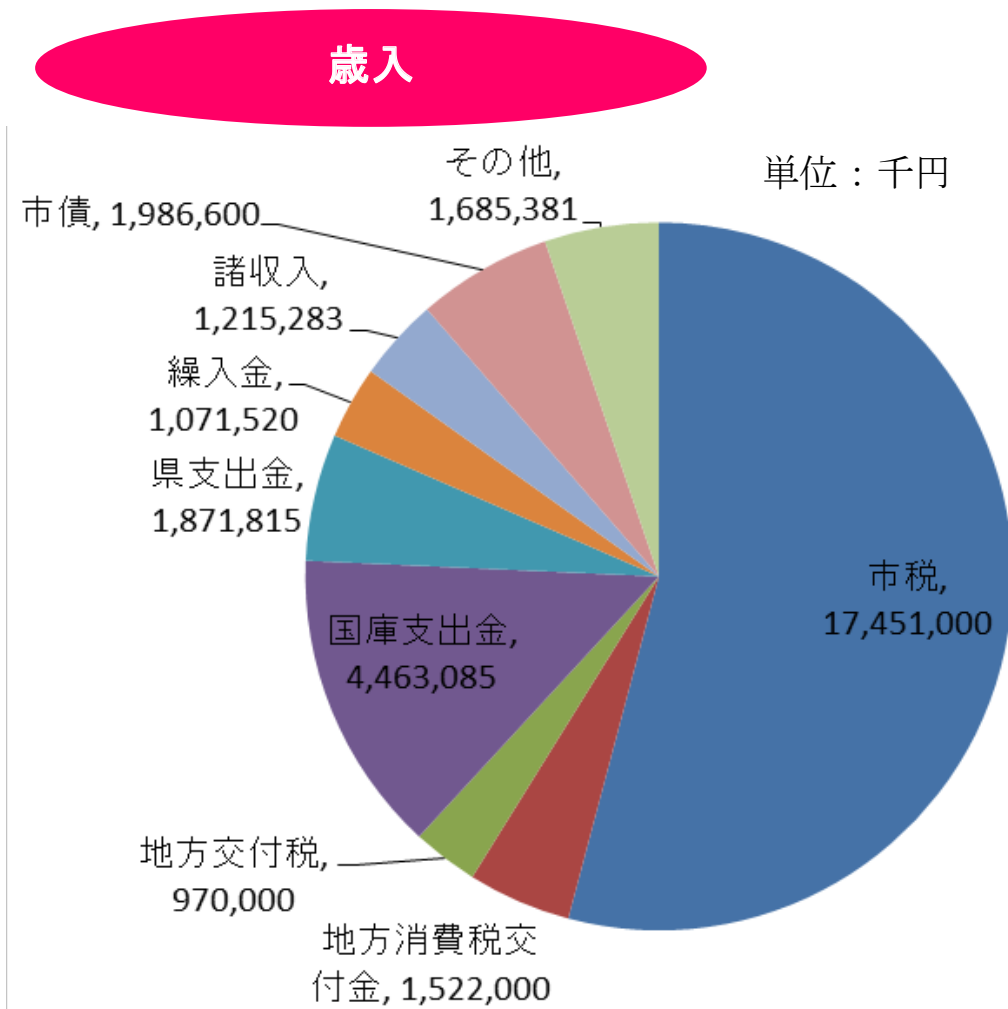
回答：情報発信手段の一つであると捉えているが、Facebook と比較して情報の拡散力が弱い
ため、今後調査研究が必要。

※パブリックコメントは行政が市民対象に行う意見公募であり、4月からは市のホームページトップのバナーからも検索可能です。

その他公民館や市役所の情報公開コーナーにも設置されていますので、ご覧ください。

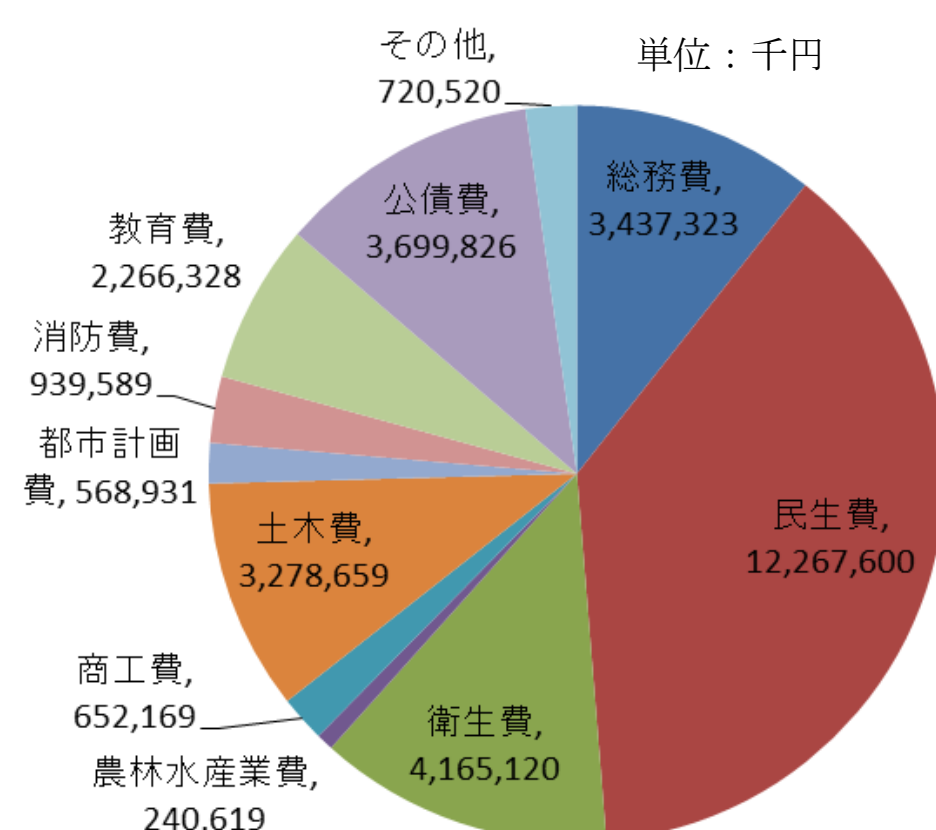
平成27年度一般会計 当初予算

一般会計の当初予算総額は、約322億円です。その内訳を紹介します。



法人市民税が昨年度比で約10億円増加しています。それに伴い、市税が昨年度比で9億7500万円の増額です。財政調整基金からの繰入金は昨年度比で約1億円の増額です。

歳出



生活困窮者の自立支援、図書館の指定管理、地球温暖化対策（エネファーム設置補助）などの新規事業が含まれています。子育て支援策については、次のページをご覧ください。

平成27年度 新たな子育て支援施策

子ども医療費無料化

子どもの医療費が平成27年7月より、15歳まで無料化されます。これまで、所得制限があったものが撤廃され、どの家庭も対象となります。子どもの受診が増加することも予想されるため、その懸念の質問をいたしました。小児救急医療電話相談事業（#8000）なども案内することによってできる限り混雑がないように行政も努力するという答弁でした。

妊婦さんへの助成

■妊婦歯科検診

市内に住所を有する妊婦さんを対象として、500円の検診料で受診できる制度です。

■妊婦健康診査費助成

市内に住所を有する妊婦さんを対象として、助成券を交付し、健康診査費を助成する制度です。これまで4000円券12枚、11000円券2枚の助成だったものに、1000円券12枚の補助券がつき、合計82000円の助成となります。

■風しんワクチン予防接種費助成

市内に住所を有する人で、風しんにかかったことがなく、かつ、予防接種歴がない人のうち、妊娠を予定している女性・妊娠を希望する女性及び妊婦さんの同居家族を対象として、5000円を上限とした風しん予防接種の助成をする制度です。

ユーアイ帆っとセンター（福祉交流センター）オープン

平成27年4月1日より、ユーアイ帆っとセンターがオープンしています。

それに伴い、子育て支援センターも移転。子育て支援の交流スペースは床暖房も完備され、安心して子どもを遊ばせることのできる空間です。

